

防災だより

～みんなで広める防災の環～

佐井村では現在、土砂災害と津波の被害想定などを記した総合防災ハザードマップを作成するため、更新作業を行っています。このことから、11月3日から15日まで村内全地区で「総合防災ハザードマップ説明会兼防災研修会」を開催し、合計81名の方に参加いただきました。

ハザードマップとは、災害が発生した際、その災害の影響が及ぶ区域を想定し、地図にまとめたものです。

参加いただいた住民のみなさんからは土砂災害や津波の想定区域のほか、お住まいの区域内で危険な場所や地図に載っていない避難経路などを教えていただき、村としてもより深く地域のことを知ることができました。今月の防災だよりは、研修会での質疑応答について紹介します。

問—国道から地区までの距離が長く、その間にも大雨の際に水が溜まりやすい場所がある。ハザードマップの大きさを変更し、その場所も入れてほしいが変更は可能か？

答—変更可能。変更に伴い縮尺も変更となるが、わかりやすい内容としたい。

問—公共施設が少ないため、神社やお墓、橋などの名称を追加してほしい。

答—追加する。住民の方以外の人でもわかる内容としたい。

問—高台へ続く階段が自宅の裏にあるが、水はけが悪いため足がとらえてしまう。

高齢者は歩行が困難だと思う。

答—現場の確認を行い、状況次第で避難経路としての可否を見極めていく。

問—避難場所への道のりについて、橋を渡ったほうが近いが通行して良いか？

答—橋を渡って避難する場合、川から津波が遡上してくる可能性がある。注意のうえ通行すること。

問—避難経路がすべて土砂災害警戒区域に入っているか？

答—地震の場合でも土砂災害が発生する可能性がある。事前に避難経路について安全性を確認すること。どうしても土砂災害警戒区域を通る場合は注意のうえ避難すること。

日本は災害大国と呼ばれるほど毎年さまざまな自然災害が多発しています。居住する地域の危険性を認識のうえ生活し、災害はいつでも起こりうるという心構えを持ちましょう。

紹介した質疑以外にもたくさんのご意見をいただきました。今後、ご指摘いただいた意見の集約や現場確認および避難経路の追加などを行い、来年の4月には住民のみなさんへ配布できるよう作業を進めます。



牛滝地区



川目地区



矢越地区



原田地区

【お問合せ】 総務課 管財係 担当：山口、竹内

防災クイズ



←このマークはハザードマップに必ず掲載されますが、何を意味するマークでしょう。

①非常口 ②避難場所 ③トイレ

※答えは広報紙の最後のページで確認できます。